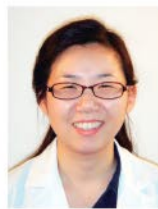


HEALTH

# 心と体のメンテナン

10月のトピック ◆ ホルモンの話



ヒュン・ジリー先生

家庭医学専門医。内科をはじめ、婦人科、小児科の診療を手掛ける。ニューヨーク州立大学アップステート医科大学卒業。フローティング病院 (The Floating Hospital) にも籍を置き、ホームレス家族を対象としたプライマリーケアにも力を入れる。

## 男性の特徴を作る男性ホルモン

**AQ** 男性ホルモンとは何ですか？

男性特有の生殖器官や思考回路の発達を司るホルモンの総称で、アンドロゲンとも呼ばれます。中でも重要な役割を持つのが、精巣から分泌されるテストステロンです。

テストステロンには、男性性器の発達や精子の形成をはじめ、筋肉質な体つきや体毛の発育、皮脂の分泌、低い声といった「男性らしさ」を促す働きがあります。一般的に男性は、性的欲求や攻撃性が女性より高

いとされますが、それも男性ホルモンによる影響です。男性ホルモンの分泌は、思春期に一気に増加し、20〜30代でピークに達した後、緩やかに減少に転じます。

**AQ** 男性ホルモン異常が原因の病気とは？

胎児期に男性ホルモン、あるいは女性ホルモンに異常があると、生まれた時に性器が小さい、あるいは欠損しているなどの異常が引き起こされる場合があります。染色体とホルモン濃度などを検査した

上で診断し、たとえば男の子が、男性ホルモンの欠乏が原因で陰茎(ペニス)が発達していない場合、テストステロンを投与する治療を行います。

男性ホルモンは女性の体内でも分泌されており、女性ホルモンは男性の体内でも分泌されています。病気やストレス、食生活などにより男性ホルモンと女性ホルモンのバランスが崩れると、体にさまざまな症状や変化が現れることがあります。たとえば女性で、女性ホルモンの分泌が異常に低下すると、男性ホルモンの影響が強くなり、声が低くなる、体毛が濃くなる、ニキビが出やすくなる、などの男性の特徴が目立つことがあります。

**AQ** 男性にも更年期障害はありますか？

加齢とともに男性ホルモンの分泌が減少し、女性の更年期障害と同じような症状が男性にも現れることが分かってきました。女性と同じように個人差があり、症状が全くない人もいれば、生活に支障を来すような身体的、精神的に重い症状を経験する人もいます。

に子どもを産めなくなりませんが、男性の場合、人によっては80代でも精子を作れるように、更年期による身体や精神面での影響は、女性ほど劇的ではないと言えます。

女性の場合、症状緩和に女性ホルモンの投与が有効なことがあります。大豆に含まれるイソフラボンは、女性ホルモンに似た働きがあることも分かっています。

一方、男性では、ホルモンの乱れが原因で勃起機能不全になることがあります。治療によく使われるバイアグラは、血管を拡張して勃起を助ける作用がありますが、男性ホルモンではありません。

更年期障害には、ホルモンの低下以外にもさまざまな要因が関係しています。治療法は、それらも考慮した上で決定します。

※最終回の次回は、甲状腺ホルモンについてです。

INFORMATION

Hyun Ji Lee, MD  
Nihon Clinic  
15 W. 44th St., 10th Fl.  
(bet. 5th & 6th Aves.)  
TEL: 212-575-8910  
www.nihonclinic.com  
Manhattan Wellness Medical Care  
16 E. 41st St., 6th Fl.  
(bet. Madison & 5th Aves.)  
TEL: 212-532-8910